

(仮称) 新福祉社会館建設及び公共施設等総合管理計画についての市民説明会	日時	平成29年4月21日(金) 18:00~19:30	場所	小金井第一小学校 体育館
説明員 (12人)	西岡市長、天野企画財務部長兼庁舎建設等担当部長、佐久間福祉保健部長、三浦企画政策課長、今井企画調整担当課長、高橋庁舎建設等担当課長、関地域福祉課長、前島福祉社会館等担当課長、藤井自立生活支援課長、高橋介護福祉課長、鈴木高齢福祉担当課長、石原健康課長			
事務局	企画政策課 渡邊主査、岡崎主任 地域福祉課 山口主査、井出係長、鈴木主任			
次第	1 開会挨拶 2 公共施設等総合管理計画について 3 (仮称) 新福祉社会館建設について 4 質疑応答 5 閉会挨拶			
配付資料	1 次第 2 公共施設等総合管理計画市民説明会 (スライドを印刷したもの) 3 小金井市公共施設等総合管理計画 (概要版) 4 (仮称) 新福祉社会館建設に係る市民説明会 5 (仮称) 小金井市新福祉社会館建設基本計画市民検討委員会委員を募集します			
(司会進行：渡邊主査)				
<p>【次第1】 開会挨拶 市長から開会の挨拶を行った。</p> <p>【次第2】 公共施設等総合管理計画について 企画調整担当課長が資料2に基づき説明を行った。</p> <p>【次第3】 (仮称) 新福祉社会館建設について 福祉社会館等担当課長が資料4に基づき説明を行った。</p> <p>【次第4】 質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年8月に旧福祉社会館の閉館に関する説明会があり、その際に公民館本館の仮移転に係る説明会資料が配られた。その中で、「公民館本館は公民館本町分館へ仮移転、その他分館は公民館の在り方を含めた全体的な計画の中で平成27年10月以降検討を行う」とあった。その後、社会教育・公民館に関して市の考え方は全く示されていないが、市はどのように考えているのか。 → 公民館は社会教育の観点からも重要であり、有意義であることは認識している。現在、公民館運営審議会でも中長期計画を検討していただいております。生涯学習部としても当該答申が出ないと今後の方向性についてはお示しできないと考える。 ○ 公民館本館についてはどのように考えているのか。 → 庁内検討委員会には公民館長が委員として入っており、今後検討していくことになる。現時点では、はっきりしたことは言えない。 ○ 公民館運営審議会は別として、市として公民館に対する考え方はどのように持っているのか。公民館は(仮称)新福祉社会館に含めるといふことでよいか。 → 本日は、福祉保健部内で検討していることを皆さんと共有するために開催したものである。今後、庁内検討を経て市としての考えを示していくこととなる。 ○ 旧福祉社会館は、公民館が併設されていた。(仮称)新福祉社会館は、何階建てでどういった機能が含まれているのか。公民館機能は含まれていないのか。公民館について、どのように考えているのか。 → 資料4の2ページに「あらゆる市民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティ～」とあるように、いろんな方に使っていただきたいと考えている。その中に公民館の活動が入ってくるかもしれない。何も活動のスペースがないということは考えていない。同資料5ページ上段には「多くの市民が自由に利用できたり、イベント会場としても活用できるマルチスペース」、中段には「サークル活動など」等と記載があり、こういう機能も整備していきたい。ただし、現状として公民館がそのまま入るといふよりもいろんな方に使っていただけるよう枠を広げた形を想定している。今後、検討を 				

重ねていく必要があり、庁内での検討が終わった段階で示すことを考えている。

- 市の業務はPDCAサイクルが重要であることが承知のことと思うが、このPDCAは誰のために、何のために、どのようなことをやってきたのかということこそが、最も重要である。公共施設等総合管理計画では何をビジョンとして示そうとしているのか。新たな計画なのであるから、リニューアルの視点をもって取り組むべきであろう。いかがか。
 - 公共施設等総合管理計画において基本的な考え方を定めたところであり、計画と整合を図っていくことが必要と考えている。縛りをかけるといえるものではなく、将来人口の動向に合わせて総量を抑制する中でも市民サービスの低下を招くことがないようにする。市民サービスを向上させていくというものと捉えている。その点からすれば、ご指摘のリニューアルの視点を含んでいるものとも考えるところである。
- 旧福祉会館では集会施設としての利用のみならず、囲碁や談話などの利用もあった。そういった機能が失われたことについて、どのように考えているか。3年も4年もそういった機能が失われることについてどう考えるか。
 - 平成30年度に設計を行い、平成33年度の竣工を目指している。機能を休止していることについては、御苦労・御迷惑を掛けている。少しでも早く（仮称）新福祉会館を整備していきたい。
- 展示発表ができなくなり、活動発表の場がなくなったことから、やりがいなくなったという声もあった。小金井 宮地楽器ホールの利用に対する減免措置はないのか。
 - 小金井 宮地楽器ホールの減免措置は、考えていない。
- 公共施設等に関する市民意見交換会での意見がどのように反映されたのか。
 - 市民意見交換会では、老朽化した施設を中心に採り得る方策について検討いただいたが、その中では、集約、複合化、多機能化、廃止、売却等が有効という方向性が示された。計画上にどの施設をどうするという点については落とし込めなかったが、意見交換会、ワークショップの場で参加者の皆さんが共有されていた「計画的な施設更新」、「安全・安心の確保」、「市民サービスの向上」については、本計画における基本的な考え方につなげられたと考えている。
- 公立保育園について、今後、民間委託、民間移譲するようになってきており、保育の質や財政効果等に関して保護者から説明を求めているが、市からは明確な回答がない。民間委託・民間移譲ありきの姿勢では協議の進展は望めない。公共施設等総合管理計画を見ても民間保育園との連携や質の向上、医療機関との連携による医療的なケア等についても記述がなく、民間委託・民間移譲する根拠に関する記述もないので資料として提示していただきたい。ある民間保育園では、看護師がいなかったり、都や福祉オンブズマンに訴えても効果がなかったりする。市直営であればこそそのサービスもあることを考えていただきたい。本説明会の主旨には合わないことは承知しているが、意見として申し上げさせていただく。
 - いただいたご意見については、担当へ伝える。
- 公共施設をつくる際に過度に立派なものをつくってほしくない。
 - 公共施設全般に過度に立派な施設をつくることは考えていない。
- （仮称）新福祉会館については、敷地はあるのになぜすぐに建設できないのか疑問である。使えなくなることが分かっているのだから、事前に計画的に建てることはできたのではないのか。何が障害となっているのか。
 - 今回示している（仮称）新福祉会館についても、新庁舎についても平成33年度中の竣工を目指し、計画的に進めていく。
- （仮称）新福祉会館の基本理念と公民館の活動とで重なる部分がある。公民館本館をつくり、福祉会館の中に入れていただきたい。
 - 決して公民館が必要ないとは考えておらず、公民館活動は大事だと考えている。社会教育と福祉で一緒に取り組むべきところもあると考える。
- 社会教育法があり、公民館活動はすばらしいものである。この活動を次の世代へつなげていくことが必要と考える。

【次第5】 閉会挨拶

福祉保健部長から開会の挨拶を行った。

— 以上で、説明会終了 —